

書 写

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	書写 701	A B 146	令和2年
15	三省堂	三省堂◆	書写 702	B 5 130	
17	教育出版	教 出◆	書写 703	A B 146	
38	光村図書	光 村	書写 704	B 5 158	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 書写(視覚障害特別支援学校)

発行者		東書	三省堂	教出	光村
内容	<p>1 視覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</p> <p>①触覚や聴覚等を活用して、体験的な活動を工夫できるもの。</p>	<p>☆ 1</p> <p>①「基本の点画の書き方」では、毛筆の筆使いを擬音語で表現している。(P10-11)</p>	<p>☆☆☆☆ 6</p> <p>①「点画の丸み」では、毛筆の手本を指でなぞって確かめる活動を示している。(P38-39)</p>	<p>☆ 1</p> <p>①「行書の筆使い『大』」では、手を筆先に見立ててなぞる活動を示している。(P44-45)</p>	<p>☆ 1</p> <p>①「漢字の筆使い」では、毛筆の筆使いを擬音語で表現している。(P41)</p>
	<p>2 視覚障害への配慮を要する内容等について</p> <p>①視覚を頼りに文字を見比べたり、探したりする活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</p>	<p>★★★★ 8</p> <p>①「手書き文字と活字」では、手書き文字と活字の違いについて考える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P72)</p>	<p>★★★★ 8</p> <p>①「活字と手書き文字・筆順」では、活字と手書き文字を見比べる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P24)</p>	<p>★★★ 6</p> <p>①「楷書と行書の違い『和』」では、楷書と行書の文字を見比べて、形が変化しているところに丸を付ける活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P42-43)</p>	<p>★★ 4</p> <p>①「点画の変化」では、楷書と行書の文字を見比べて、点画が変化しているところを鉛筆で囲む活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P58)</p>
構成上の工夫	<p>国語との関連箇所</p>	11箇所	7箇所	10箇所	14箇所
	<p>障書の状態に応じた事項、その他</p> <p>①手本が大きく鮮明であるもの。</p>	<p>①「書き初めをしよう」では、折り込み4ページ分の大きさを毛筆の手本を示している。(P97-100)</p>	<p>①「書き初め」では、折り込み4ページ分の大きさを毛筆の手本を示している。(P113-124)</p>	<p>①「書き初めを書く」では、折り込み4ページ分の大きさを毛筆の手本を示している。(P129-136)</p>	<p>①「書き初め」では、折り込み4ページ分の大きさを毛筆の手本を示している(P145-156)</p>
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし

中学部 書写(聴覚障害特別支援学校)

	発行者	東書	三省堂	教出	光村
内容	<p>1 聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</p> <p>①身の回りの文字に関心をもてるように学習活動が工夫できるもの。</p>	<p>☆☆☆☆ 9</p> <p>①「本のポップを書こう」では、好きな本を紹介するポップを作る活動を示している。(P64-65)</p>	<p>☆☆☆ 7</p> <p>①「身のまわりの文字」では、手書き文字や活字による伝え方の変遷を示している。(P72-73)</p>	<p>☆☆☆☆ 11</p> <p>①「あの人が残した文字」では、日本の歴史上の人物が書いた文字を写真で紹介している。(P56-57)</p>	<p>☆☆☆ 7</p> <p>①「行書を活用しよう」では、行書を活用している様々な場面を、写真で紹介している。(P80-81)</p>
	<p>2 聴覚障害への配慮を要する内容等について</p>	なし	なし	なし	なし
構成上の工夫	<p>国語との関連箇所</p> <p>障害の状態に応じた事項、その他</p> <p>①手本やポイントを視覚的に分かりやすく示しているもの。</p>	<p>11箇所</p> <p>①「姿勢と筆記具の持ち方」では、文字を整えて書くための姿勢や書きやすい鉛筆の持ち方などを、写真や図で示している。(P6-7)</p>	<p>7箇所</p> <p>①「点画の種類と筆使い」では、筆の穂先の手本や筆使いのポイントを視覚的に示している。(P16-17)</p>	<p>10箇所</p> <p>①「書式の教室」では、手紙の書き方について、手本やポイントを視覚的に示している。(P100-101)</p>	<p>14箇所</p> <p>①「楷書に調和する仮名」では、平仮名の筆使いのポイントを枠囲みで示している。(P44)</p>
	<p>参考</p> <p>防災や自然災害の扱い</p>	あり	あり	なし	なし

中学部 書写(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	発行者	東書	三省堂	教出	光村
内容	<p>1 肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</p> <p>①上肢の操作を伴うものであっても、補助的な手段等を活用した学習活動が工夫できるもの。</p>	<p>☆☆ 3</p> <p>①「思いを文字で表そう」では、自分の思いを効果的に文字で表現する活動を示している。(P91-92)</p>	<p>☆☆ 3</p> <p>①「グループ新聞を作ろう」では、グループで内容やレイアウトを話し合って決める活動を示している。(P48)</p>	<p>☆☆☆☆ 7</p> <p>①「学校生活に生かして書く」ではお薦めの本の帯やポップを作る活動を示している。(P36)</p>	<p>☆☆☆☆ 6</p> <p>①「私の好きな言葉」では、出会った言葉や書きたい言葉を選び、書体や筆記具、用紙を決めて書く活動を示している。(P104)</p>
	<p>2 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について</p> <p>①上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。</p>	<p>★★ 6</p> <p>①「書いて味わおう『竹取物語』」では、1ページ分の物語文をなぞる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P48)</p>	<p>★★★★ 10</p> <p>①「名言集をつくろう」では、彫刻刀やカッターを用いて消しゴムを彫り、篆刻を作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P76)</p>	<p>★★★★ 8</p> <p>①「楷書と行書の違い『和』」では、楷書と行書を見比べて、形が変化しているところに丸を付ける活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P42-43)</p>	<p>★★★★ 14</p> <p>①「速さを比べてみよう」では、速さを意識して書く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P52)</p>
	国語との関連箇所	11箇所	7箇所	10箇所	14箇所
構成上の工夫	<p>障書の状態に応じた事項、その他</p> <p>①手本が大きく鮮明であるもの。</p>	<p>①「点画の書き方と字形の整え方」では、ページ全体に毛筆の手本を示している。(P15)</p>	<p>①「行書の特徴」では、ページ全体に示した文字について、行書の特徴となる部分を矢印や丸囲みで示している。(P36-37)</p>	<p>①「筆使いと字形『天地』」では、見開きページに毛筆の見本を示すとともに、中心線や補助線を示している(P16-17)</p>	<p>①「点画の変化」では、見開きページに毛筆の見本を示している。(P60-61)</p>
	参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし